

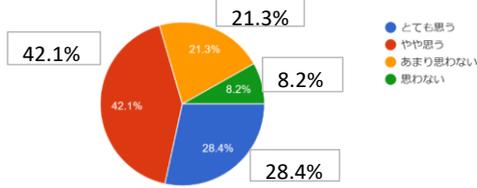
# 令和5年度(後期) 児童・保護者アンケートの結果から

令和5年12月27日 稚内南小学校

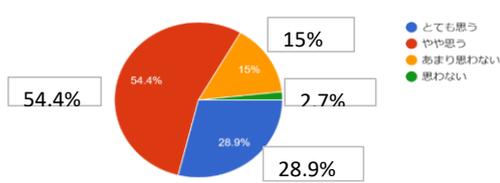
本校の令和5年度後期の教育活動を振り返り、3学期または次年度の教育活動に活かしていくため、保護者アンケートを12月に実施しました。皆様のご協力ありがとうございました。以下、結果と考察をお知らせします。

## 【保護者】

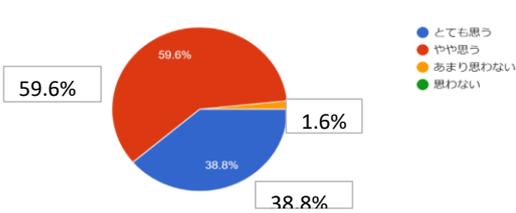
お父さんは、自主的に家庭学習を行っている  
183件の回答



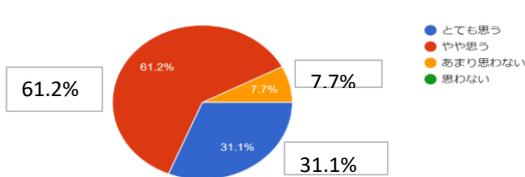
お父さんは、家で話をよく聞き、自分の考えを話したりしている  
180件の回答



学校は、子どもたちが分かる授業づくりをしている  
183件の回答



学校は、学力向上の取組や成果をわかりやすく伝えている  
183件の回答

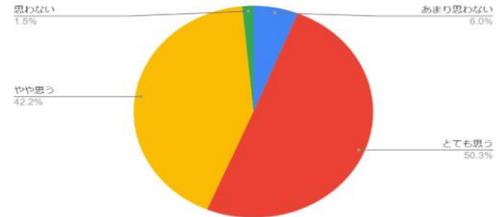


## 【学習面】

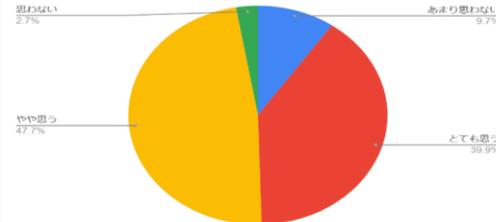
○前期よりも、肯定的評価が増えて  
います。今後はICTを活用しながら、  
児童が自主的に家庭学習に向  
かっていく手立てを考えて実行して  
いきます。

## 【児童】

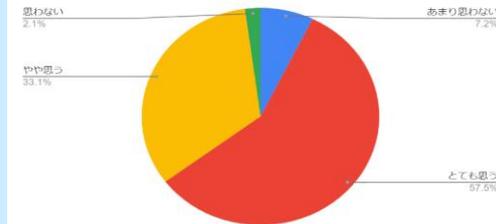
「授業や活動で「やるべきこと」や「目標」がはっきりしている」のカウント数



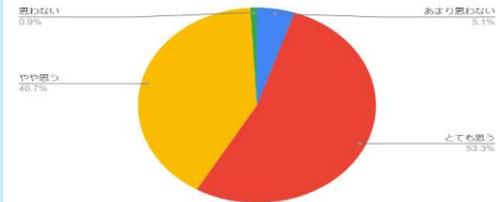
「学校では自分から進んで学習に取り組む」のカウント数



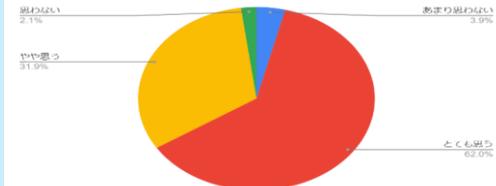
「長い文章問題に、最後まであきらめずに取り組むことができる」のカウント数



「授業中の目標や課題（問題）をやりとげることができている」のカウント数

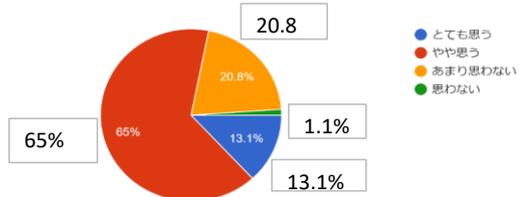


「授業で自分の考えをもち、友達と話し合えることができる」のカウント数

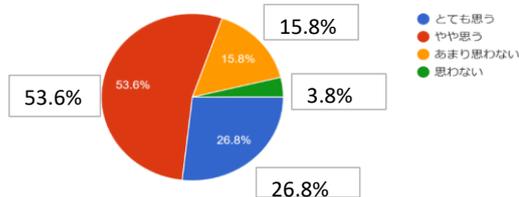


## 【保護者】

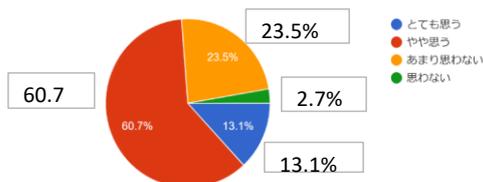
お子さんは、自分の長所や短所をわかり、良さを発揮している  
183件の回答



お子さんは、約束やきまりを守って生活している  
183件の回答



お子さんは、適切な言葉づかいや、相手の立場を考えた言動を取ることができる  
183件の回答



## 【生活面】

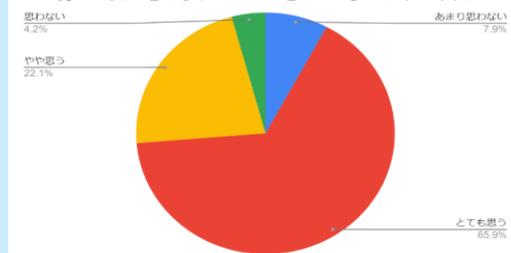
○「約束や決まりを守って生活している」に関して、保護者・児童ともに8割以上の肯定評価となっています。今後も家庭との連携を大切にしたい指導を進めていきます。

○「健康・安全に注意して生活をおくる」に関する項目では、児童の肯定的評価が高くなっています。児童がケガなく学校生活を送るためには、校内は走らない、体育館では曜日ごとに遊べる学年を決めるなど、安全に配慮した取組が必要なので、児童と共に考え実行していきます。

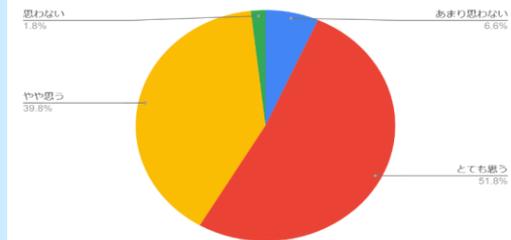
○「適切な言葉づかい、相手の立場を考えた言動」に関する評価項目では、前期に続きおよそ2割のご家庭で否定的評価となっています。学校では、いじめ未然防止の観点からも相手を傷つける言葉を使わない、傷つける言葉が飛び交うような環境をつくらない、など指導を強化しています。ご家庭でも児童に考えさせる機会をぜひ設けていただきたいと思います。

## 【児童】

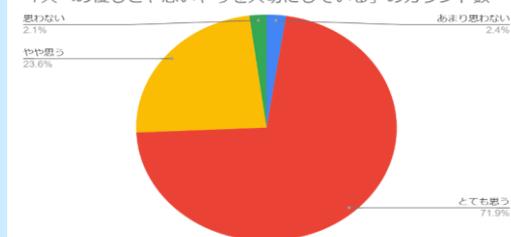
「自分には良いところや得意なことがある」のカウント数



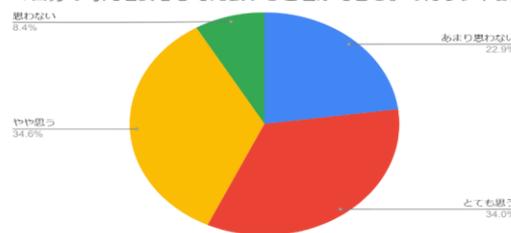
「約束やきまりを守って生活している」のカウント数



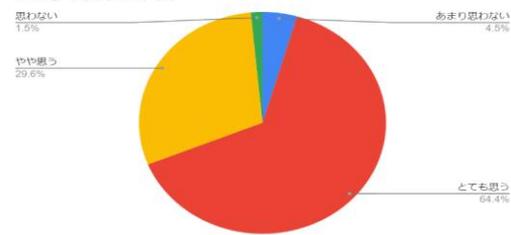
「人への優しさや思いやりを大切にしている」のカウント数



「自分の考えを安心して発表することができる」のカウント数



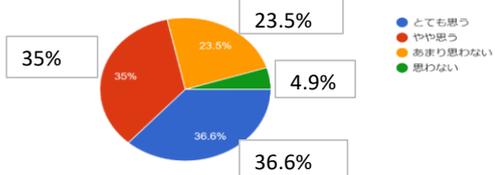
「健康・安全に自分で注意しながら学校内外での生活を送っている」のカウント数



【保護者】

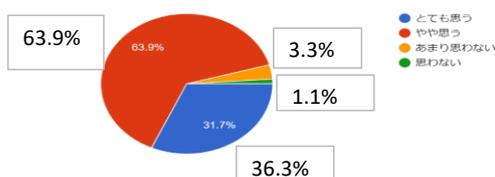
お父さんは、進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている

183件の回答



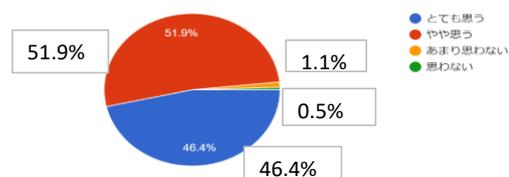
学校は、子ども同士が適切に係わることができるよう、指導・支援している

183件の回答



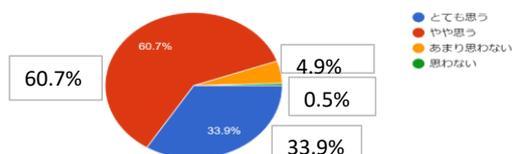
学校は、保護者からの相談や質問に適切に対応している

183件の回答



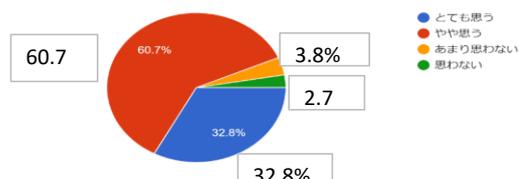
学校は、課題や問題には迅速に策を講じ、改善を図っている

183件の回答



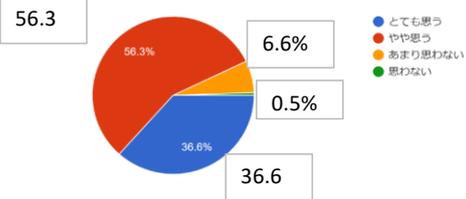
学校は、いじめのない楽しい学校生活づくりに取り組んでいる

183件の回答



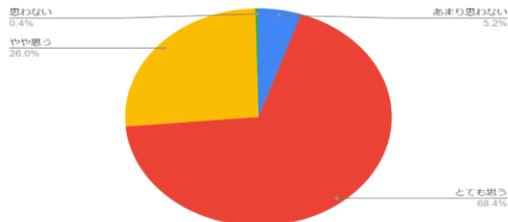
学校は、積極的に教育活動を地域社会や家庭に公開し、参加・参画を呼びかけている

183件の回答

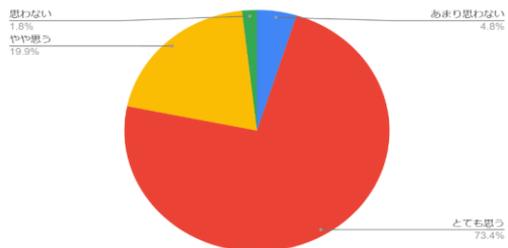


【児童】

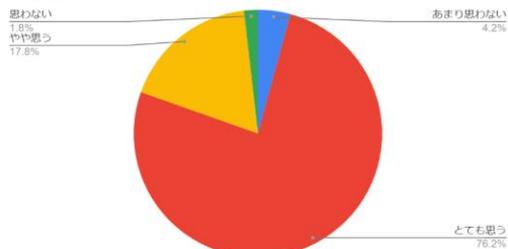
「タブレットを使った授業がよく分かる」のカウント数



「体育の授業ではたくさん身体を動かしている」のカウント数



「先生は自分の困っていることや相談に乗ってくれる」のカウント数



【その他】

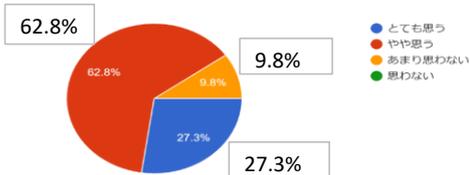
○「先生は困っていることに相談に乗ってくれる」は前期よりも肯定的評価が高くなっていますが、まだ否定的評価をつけている児童がいることも事実です。ここを「0」にするように児童に寄り添った関わりができるよう全教職員で行っていきます。

○「保護者からの相談・質問」は「迅速・丁寧で相手の立場に立ち、児童を中心に考え、誠意を持った対応」を継続します。

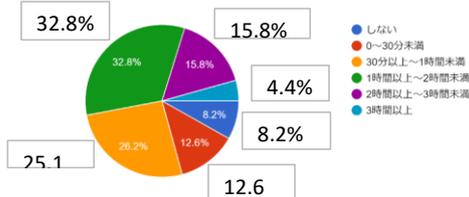
○「いじめのない学校生活づくり」については、保護者の皆様にも適切な情報発信をしながら、いじめは「絶対許されない」という観点で児童への指導と、未然防止、早期解決のため、児童一人一人の児童の心に寄り添う指導、いじめを生まない授業づくり・集団づくりに引き続き取り組みます。

【保護者】

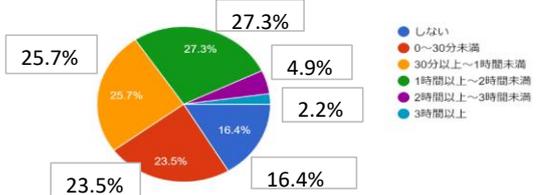
学校は、「地域の中での学習」や「教育活動への地域人材の活用」を進めている  
183件の回答



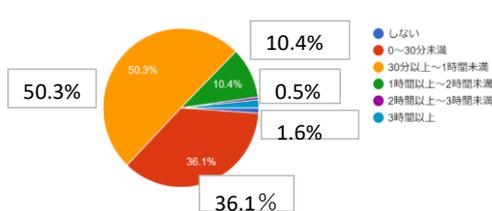
お父さんが学校から下校後、ゲーム以外のインターネットを使う時間は？  
183件の回答



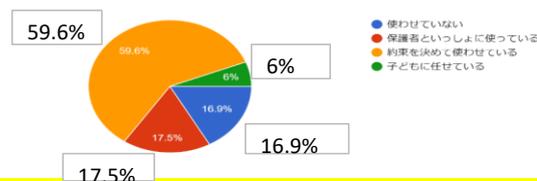
お父さんが学校から下校後、ゲーム（ネットゲームを含む）をする時間は？  
183件の回答



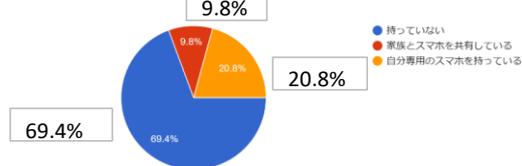
お父さんが平日に行っている家庭での学習時間はどのくらいですか？  
183件の回答



スマホやタブレット・PCなどのネット端末の管理は？  
183件の回答



お子さんはスマートフォンを  
183件の回答



【生活リズム】

○「ゲーム」や「テレビ等の視聴時間」が長時間になったときに脳に与える影響は大きいと言われていま  
す。10月の懇談会資料に「メディアの南小ルール」を掲載してあります。各ご家庭でもご確認の上、ご  
指導をお願いいたします。学校でも指導していきます。

最後に「自由記述欄」へのご記入もありがとうございました。「担任への激励」「担任の子ども  
への対応の仕方」等につきまして貴重なご意見をいただきました。より良い学校を目指し、より良  
い子どもを育てるために保護者の皆様との連携は必須だと捉えております。以下、回答が必要と思  
われる質問にお答えします。

Q1 低学年の情報機器の活用をもっと進めて欲しい。

A 学校では3学期に入ってから本格的にタブレットの活用を進めるべく準備をしています。

Q2 アンケートなのに学年・名前を書くのはなぜか。

A いただいたご意見等に迅速に対応できるようにするため、記名式にしております。今後ご理解ください。

Q3 学校に置いていける教科書の数を増やし、子どもの荷物を減らして欲しい。

A 今後、学校としてルールを決めて実施していきます。もうしばらくお待ちください。

Q4 熱中症が心配の時は水筒の中身を麦茶やスポーツドリンクを入れてもいい、としてほしい。

A 南小では水筒の中身は水もしくはお茶類としております。周知が遅れて申し訳ありません。

Q5 一度、雷でお迎えの時がありましたが、学校から時間差でのお迎えの連絡があった時には  
もうお迎えに出ている人が多かったようです。混乱を避けようと、時間を守って出たものの、  
近隣の道路が大混雑していました。見通しをもった連絡が必要と思いました。  
災害対応には学校と保護者でしっかり協力して声を掛け合っていくことが必要だと思う。

A 学校の駐車場は広くはないので、今後も非常時の時には、時間差でのお迎えをお願いしていきます。  
保護者の皆様にも時間を守ってお迎えに来ていただくこと、通行禁止区域は通らないことを改めてお願いします。  
今後、年2回（春と秋）に悪天候に係わる対応文書を発行します。そちらもご確認ください。

Q6 学校のことを聞く選択肢に「よくわからない」があると良いと思います。

A 次年度からそのようにいたします。

Q7 アンケート結果をもとにどんなことを変えたのか、教育体制の改善点を知りたいです。

A わかりづらく申し訳ありません。例えば、家庭でのゲーム時間などが多い結果から、今年度は  
「メディアの南小ルール」を提示させていただきました（10月懇談会資料）この他、授業改善  
や適切な言葉づかいの使用など日々の学校での指導に役立たせてもらっています。  
これからもわかりやすい情報発信を心掛けていきます。

Q8 南中に進学すると地区が変わるところがある。中学校と連携して地区の再編をお願いしたいです。

A これまで把握せず申し訳ありません。現在南中と協議しております。次年度は地区を合わせたいと考えてい